

病棟内・内視療法の構造と方法

2, 内視勤務表、内視面接一覧表、内視記録の重要性

○太田 秀造 池田 明穂 (医療法人耕仁会 札幌太田病院精神科)
響 徹 太田 耕平 (医療法人耕仁会 札幌太田病心療内科)

1. 内視担当職員の増加、内視勤務表の作成：当初は発表者(医師)1人であったが、酒害カウンセラー(断酒会会長)が1~2名と協力し、平成3年以降は看護婦や心理士も参加した。現在では14~15名(兼務あり)の内視指導者(医師3名、心理士4名、酒害カウンセラー4名、看護婦1名、介護福祉士1名、看護助手2名)がフレックスタイム制、又は早出、遅出出勤により、常時数名~10数名の入院患者の内視指導を、午前6:30から午後8:00まで、日曜から翌週日曜日(7泊8日)まで安定した体制で実施可能である。

内視面接勤務表(一部分) 12年5月 火金-3.5

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
上野																															
根本																															
池田																															
千葉																															
有藤																															
大西																															
上島																															

2. 内視面接一覧表と内視療法記録の必要性と重要性、看護職員の役割：一覧表は内視者の氏名、性別、年齢、病名、さらに内視の場所、面接時間、内視の形成(ゆったり内視、半日内視など...)、面接者氏名、内視テーマ、さらに指導者名、訪問時間、指導者から見た評価などを記入する。一方、内視療法記録にはテーマと三問~五問への回答、表情や情動反応、内視回想内容、面接者の助言や指導内容、次の面接者への申し送りを簡潔に記録する。これらは内視療法課程を客観的に記録、保存することにより、治療の課程や面接者の対応の反省と研究が可能となる。

これらにより、安定した内視指導の体制を保持し、多数例に対して内視療法と面接の質の確保が可能となる。

内視面接一覧表 平成 年 月

記号	場所	J=自室	N=内服室	S=保護室	方法	①=ゆったり	②=しっかり	③=屏風	④=配鏡	T=退院前3日内視	内室	○=深い	△=																	
氏名	年齢	住所	担当	内視一日目(月日曜日)				内視二日目(月日曜日)				内視三日目(月日曜日)																		
内視場所	方法	性	家族	電話	7:00	9:00	10:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	7:00	9:00	10:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	7:00	9:00	10:00	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00		
注意																														
注意																														
注意																														

(一部分)